

第20回全国中学生弓道大会 (JOCジュニア)

オリンピックカップ大会

■日時 8月17日(土)

■会場 東京都渋谷区代々木／明治
神宮武道場至誠館弓道場

◇弓道クラブ

【団体男子の部】

眞山 昭憲(3年生)

山田 満生(3年生)

福田 侑栖(3年生)

中野 航太郎(3年生)

※山口県中学校選手権大会 優勝



第55回全国中学校 新体操選手権大会

■日時 8月17日(土)～19日(月)

■会場 長野県長野市／(真島総合
スポーツアリーナ・南長野運動公
園体育館)

◇新体操・YUURG所属(若国
市由宇)

阪口莉央(2年生)

※中国中学校選手権大会団体 第2位

第58回中国中学校

陸上競技選手権大会

■日時 8月7日(水)～9日(金)

■会場 岡山県総合グラウンド陸上

競技場(シテイライトスタジアム)

◇陸上競技部

矢頭 咲愛(3年生)

2・3年女子800m

※山口県中学校選手権大会 第5位

第58回中国中学校

水泳競技選手権大会

■日時 8月3日(土)～4日(日)

■会場 鳥取県米子市／鳥取県営東

山水泳場

◇水泳クラブ

齋藤桃葉(3年生)

50m自由形

※山口県中学校選手権大会 第1位

100m自由形

※山口県中学校選手権大会 第1位

第54回中国中学校

バスケットボール選手権大会

■日時 8月3日(土)～4日(日)

■会場 維新大晃アリーナ

◇男子バスケットボール部

※山口県中学校選手権大会 優勝

祝 全国大会・中国大会への出場 —田布施中学校—

男子弓道クラブ 全国大会出場者の激励会を開催



団体で全国大会初出場を決めた、男子弓道クラブの激励会を開催しました。顧問の西岡先生は『毎日、真面目に練習してきた成果が出ました。全国大会でも一射ずつ丁寧に取り組んでもらいたい。』と述べました。

男子責任者の中野君は『全国大会では、まず予選を突破できるように、チームの目標達成に向けて、精一杯頑張りたい。』と意気込みを語りました。全国大会は、8月17日(土)に明治神宮で行われました。

田布施町「二十歳のつどい」を開催します

二十歳を迎えるみなさんの前途を祝して『二十歳のつどい』を行います。

10月1日時点で町内に住民票のある人に案内を送付いたします。その後転入した人や、町内に住民票のない人(田布施町出身者)で町の式典に出席を希望する人は、下記の連絡事項を社会教育課にお知らせください。

■開催日時 令和7年1月4日(土) 午後1時～

■場所 田布施町保健センター(田布施町下田布施 3430-1)

■連絡事項

対象者の氏名、生年月日、住所、世帯主名、電話番号

■受付期限 11月29日(金)

■問合せ先 社会教育課 ☎ 52-5813

『二十歳のつどい』対象者

平成16年4月2日～

平成17年4月1日

に生まれた人

7/28 カヌー教室を開催しました

田布施町商工会館サリジエ横の田布施川で田布施町青少年健全育成町民会議主催の『カヌーに乗って遊ぼう!』が開催されました。

小学校4年生から6年生の23人が参加し、山口県カヌー協会から指導員を迎え、カヌーを操る基本的な技術を学びました。指導員や中学生ボランティアのサポートで、安全にカヌーを楽しみました。最後に希望者でスラロームのタイムを競い、上位者には県カヌー協会よりプレゼントが贈られました。



7/16 ほ場整備などについて学びました

東田布施小学校で、中国四国農政局南周防農地整備事業所の出前講座が行われました。第一部では事業所によるほ場整備や農業の多面的機能についての説明、第二部では川畑建設株式会社によるICT建機や新しい測量技術の紹介などが行われました。ほ場でICT建機の操作体験やドローンによる記念撮影も計画していましたが、あいにくの雨により中止となりました。子どもたちは様々な映像を用いた説明により、農業の大切さや最新技術について熱心に学んでいました。



まちのできごと

8/19 ふれあい活動『防災×学び×交流』

保健センターで開催された『令和6年度児童生徒ふれあい活動』で、小学生25人・中学生6人・地域ボランティア8人が防災について学びながら交流を深めました。

段ボールイスや新聞スリッパを作成し、石川県珠洲市在住の新谷さん家族とオンラインで能登半島地震のお話を聞きました。昼食は、さまざまな非常食を食べる体験をし、防災グッズの紹介やグループで災害時の備えについて話し合いました。



8/1・2 『ジュニアものづくりーラボ』開催

田布施農工高等学校と町が連携して、ものづくりのワークショップ『ジュニアものづくりーラボ』を開催し、町内在住の中学生が参加しました。

参加者は『ものづくりコース』と『ロボットコース』に分かれ、『ものづくりコース』では、『ファイバーレーザー加工機』を操作してキーホルダーを製作し、『ロボットコース』では、コントロール基板のはんだ付けや3Dプリントボディの組立てを体験して無線で操縦できる『ミニ相撲ロボット』を製作し、相撲対決をして楽しみました。

